

「大溝祭」 曳山の装飾

大溝藩成立、400周年

特集ページでも紹介しているとおり、2019年は分部氏が大溝に入って400年という節目の年にあたり、大溝祭に併せて、さまざまなイベントが企画されています。今回は、大溝祭に登場する曳山についてご紹介します。

大溝祭の曳山

大溝祭は、分部氏の前任地である伊勢国上野（現三重県津市）の祭礼を移したのもといわれています。勝



野の五地区から五基の曳山（湊・巴・寶・勇・龍）が出され、5月

3日の宵山と5月4日の本祭でその装飾を変えて勝野の町を巡行します。大きさは各山ごとに多少の違いがありますが、幅約2・4m、全長約6・5m、高さ約5mになります。また、曳山の屋根周りに柱などにはきらびやかな装飾が施されており各曳山を特徴づけています。

宵山では、曳山の上部に各山組の提灯が据えられ、夜の勝野を華麗に彩りながら巡行します。翌日の本祭では、提灯の代わりに見送り幕が飾られます。見

り幕は各山組で、由緒・デザインがさまざままで各曳山を引き立たせています。湊組は中国清朝の作品で四人の人物、巴組はインド織の絨毯、寶組は龍雲、勇組は江戸時代の絵師円山応挙の子応瑞が下絵を描いた二人の人物、龍組は竹林七賢人



となっております。

祭りでは勇壮な曳山巡行が目を引きますが、訪れた際には視点を移してさまざまな意匠を凝らした曳山の細部をじっくりと鑑賞してみたいかがでしょうか。

閩文化財課 ☎(32) 4467



編集 雑感

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、今年は特集や歴史散歩でも紹介している通り、大溝藩成立から400年の記念の年となります。数年の間高島に住み、祭を間近で体感していた私は、記事を読んでとてもワクワクしてきました。「400年で…」ちょっと簡単には想像できないですね。私は、「大溝400年すごろく」で遊びながら予習をして、5月の大溝祭を楽しみたいと思っています。皆さんも今年ぜひ大溝祭へ行きましょう！（H）



広報たかしま

平成31年

1

月号

No.228

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

〒517-0150 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25)8000(代)

http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp

